

石狩川振興財団が札幌開発建設部から委託を受けて行った事業について紹介します。
札幌開発建設部では調査船「弁天丸」を活用して、「石狩川流域の水害や治水事業の歴史」、「流域の風土」、「地域の水文化」、「周辺の河川環境」などの学習活動を通じて、環境保全や防災に対する意識を高めていただくための支援活動を行っています。

平成 26 年度 石狩川下流河川総合学習支援業務
調査船等を活用した学習支援活動 第 3 回



- ◇平成 26 年 7 月 5 日（火） 9:50～12:00
- ◇参加者 北海道教育大学教育学部札幌校総合学習開発専攻 5 名

【学習コース】 弁天丸茨戸川上流コース（茨戸川艇庫船着き場→花畔大橋→水生植物群落 往復）

【学習行程】

時刻	学習内容
9:50～10:50	石狩地区地域防災施設内見学
11:00～12:00	弁天丸乗船

【学習内容】

- ◇石狩地区地域防災施設内見学
 - 石狩川の概要
 - 治水事業の歩み
 - 洪水の歴史
 - 治水施設の働き
 - ダムの種類と役割
 - 石狩放水路の働き
- ◇弁天丸乗船
 - 植物観察
 - 子供用向け環境教育プログラムについての説明

【参加者の感想】

- 「水害」について、とても勉強になった。
- 川を川の中から見るという体験は初めてで、新たな視点を持つことができた。
- 今後もこのような機会を是非いただきたい。

【実施状況写真】



洪水の歴史を学ぶ



ダムの種類や役割を説明



治水の歴史に興味津々



石狩放水路について



デッキに出て観察



川の色や匂いを体感